

令和4年度事業報告

令和4年度において実施した協会運営及び協会事業について、次のとおり報告いたします。

1 協会の運営状況

(1) 会員の状況

令和5年3月31日現在の会員数は533社（うち正会員476社、賛助会員57社）です。4月1日以降、7社（正会員4社、賛助会員3社）が加入し、11社（正会員7社、賛助会員4社）が退会し、現在は4社の減となっています。

(2) 総会、理事会等の開催

ア 総会

ホテルレイクビュー水戸において第10回定時総会を開催し、令和3年度の事業報告及び収支決算、役員の変更について審議し、原案どおり承認されました。また、令和4年度の事業計画及び収支予算について報告されました（5月24日、出席者351社、うち書面議決書提出309社、委任状提出23社）。

イ 理事会、正副会長会議の開催

(ア) 理事会

8回開催し、入会の承認、第10回定時総会の議案、いばらき自民党への県政要望、各業務委員会における事業計画及び報告、協会表彰の決定、全産連表彰、環境大臣表彰及び県表彰の推薦、事業報告及び収支状況報告等の議題を審議しました（4月26日、5月24日、6月16日、8月4日、10月13日、12月8日、1月24日、3月16日）。

(イ) 正副会長会議

8回開催し、理事会に提案・審議する事項、委員会での審議事項、協会の運営に係る事項などの協議・検討を行いました（4月26日、6月16日、8月4日、10月13日、10月31日、12月8日、1月24日、3月16日）。

(3) 委員会等の開催

ア 総務企画委員会

委員会を3回開催し、事業報告及び収支状況報告、令和4年度補正予算、令和5年度事業計画及び収支予算、不法投棄廃棄物ボランティア事業、女性部会、新春賀詞交歓会、表彰等について協議・検討を行い、理事会に上程しました（

7月5日、11月8日、2月27日）。

イ 研修厚生委員会

委員会を3回開催し、第22回親睦チャリティゴルフコンペ、事業再構築セミナー及び優良産業廃棄物処理施設等の研修会について協議・検討を行い、理事会に上程しました（5月20日、7月15日、10月24日）。

また、第22回親睦チャリティコンペを開催し、会員の親睦を深めました（7月22日、参加者82名）。集まった寄付金は茨城県災害ボランティア活動支援基金に寄付しました（贈呈式 8月31日）。

沖縄県内において研修会を実施し、産業廃棄物処理施設等を見学しました。廃棄物処理事業のほか、社員教育やSDGsの取り組み、新事業への進出などを学び、終了後は沖縄県協会員との交流会を開催しました（2月16日～18日、参加者27名）。

ウ 広報調査研究委員会

委員会を開催し、令和4年度の事業計画を策定して理事会に上程しました（6月20日）。

事業計画に基づき「資源循環いばらき」を7月及び2月に発行しました。また、協会ニュースを5回発行し、メールアドレスを登録した会員には電子メールでの配信を16回行い、会員への情報提供に努めました。

エ 安全衛生委員会

委員会を開催し、事業計画を策定して理事会に上程しました（6月20日）。

また、会員企業2社に対し、中小規模事業場安全衛生サポート事業を実施しました（9月21日、11月29日）。

「職場におけるハラスメント対策研修会」を開催しました（11月18日、参加者43名）。

オ 災害廃棄物対応委員会

茨城県及び環境省関東地方環境事務所の共催による令和4年度災害廃棄物処理対応研修会（3回）に参加しました（8月30日、11月2日、12月1日）。

カ 中間処理専門部会

委員会を2回開催し、専門部会の進め方や日程等について協議・検討を行い（11月28日、1月26日）、部会員の募集を行いました。

（4）青年部会

第9回通常総会を開催しました（5月20日）。

幹事会を8回開催し、勉強会・研修交流会について協議・検討を行いました（5月11日、6月21日、7月21日、8月25日、9月22日、10月14日、12月15日、3月23日）。

また、これに基づき、次の行事を提案・実施しました。

- ・事業再構築補助金セミナー (6月15日)
- ・太陽光パネル処理施設見学会 (牛久市) (6月28日)
- ・改正電子帳簿保存法セミナー (7月21日)
- ・SDGsワークショップ (8月9日)
- ・水戸FC環境ボランティア活動 (8月13日)
- ・Webマーケティング企業との意見交換会① (8月17日)
- ・太陽光パネル処理施設見学会 (群馬県) (9月13日)
- ・Webマーケティング企業との意見交換会② (9月22日)
- ・関東ブロックセミナー「廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラルの実現に向けて (環境省)」 (10月12日)
- ・千葉県協会青年部会との意見交換会及び健康セミナー (10月14日)
- ・モデル安全衛生規程の解説と活用について (10月26日)
- ・第12回カンファレンス及び企業視察 (11月14、15日)
- ・DX推進に向けた電子契約説明会 (12月13日、12月20日、12月27日)
- ・働き方改革セミナー「時間外労働の上限規制適用までに取り組むべきこと」 (12月15日)

2 協会事業の実施状況について

(1) 調査研究事業

全産連等が実施した産業廃棄物処理業に係る各種調査に協力、実施しました。

(2) 研修講習事業

ア 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが実施する講習会について会場運営を行いました。

- | | | |
|----------------------------------|----|------|
| ・新規講習会 (産業廃棄物収集・運搬課程) | 5回 | 234名 |
| (産業廃棄物処分課程) | 1回 | 46名 |
| ・更新講習会 (産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物収集・運搬課程) | 8回 | 388名 |
| ・特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会 | 6回 | 319名 |

イ 茨城県産業廃棄物処理業者講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター及び茨城県県民生活環境部廃棄物規制課により、電子マニフェスト、廃棄物処理施設における技術管理者の役割及び廃棄物処理業の行政処分等に関する講習会が開催され、運営を行いました（12月6日、Web会議、参加者245名）

（3）相談指導事業

ア 産業廃棄物処分事業所の紹介等

電話等による廃棄物処分方法等の相談に対して、収集運搬事業、中間処理事業及び最終処分事業に係る会員企業を紹介することにより、産業廃棄物の適正処理の推進を図りました。

イ 産業廃棄物処理業の許可取得に関する相談等

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業（収集運搬業、処分業）の許可取得や変更届などについて、電話や来所による会員企業からの相談に対応しました。

また、事務所内に県への申請窓口を開設し、予約を受け付けることにより、円滑な許可申請の促進に努めました。

ウ 産業廃棄物処理施設の設置等に関する相談

産業廃棄物処理施設の設置等に係る会員企業からの電話や来所による相談に対応しました。

（4）交流事業

ア 行政機関との意見交換会の開催

協会の円滑な運営と事業の展開を図るため、茨城県及び水戸市の担当者との意見交換会を開催し、県の事業の説明を受けるとともに県政要望について説明し、意見交換を行いました（8月4日）。

イ 公益社団法人全国産業資源循環連合会関連会議への参加

公益社団法人全国産業資源循環連合会が開催する次の会議に参加しました。

- ・第12回定時総会（6月17日）
- ・全国正会員事務局責任者会議（7月8日、Web会議）
- ・第62回理事会（7月12日、Web会議）
- ・第63回理事会（10月12日、Web会議）
- ・第64回理事会（1月13日、Web会議）
- ・全国正会員事務局責任者会議（2月3日、Web会議）
- ・2023年度許可等講習会における事務取扱説明会（2月20日、Web会議）
- ・第65回理事会（3月14日、Web会議）

ウ 公益社団法人全国産業資源循環連合会関東地域協議会関連会議への参加

公益社団法人全国産業資源循環連合会関東地域協議会が開催する次の会議に参加しました。

- ・ 令和4年度第1回事務責任者会議 (4月7日、Web会議)
- ・ 第68回関東地域協議会 (4月22日、Web会議)
- ・ 令和4年度第2回事務責任者会議 (10月18日、Web会議)
- ・ 第69回関東地域協議会 (11月25日、山梨県)
- ・ 第1回関東地域協議会災害廃棄物委員会 (3月6日、Web会議)
- ・ 令和4年度第3回事務責任者会議 (3月30日、Web会議)

エ 令和5年新春賀詞交歓会の開催

行政及び関係団体の方々や会員相互の交流を行うため、ホテルレイクビュー水戸において令和5年新春賀詞交歓会を開催しました(1月24日、参加者239名)。

(5) 広報啓発事業

ア 協会ホームページ等による情報提供 <http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

国、県及び関連団体等から提供された情報や協会で開催した各行事等について、協会ホームページに掲載し、会員企業等に対して情報提供を行うとともに、「資源循環いばらき」を発行し、各種の情報を提供しました。また、ファックス、電子メールにより迅速かつ効果的な各種の情報提供を行いました。

イ 新聞の活用

当協会について広く県民に認知していただくため、茨城新聞や環境関係新聞に記事・広告を掲載し、協会のPRに努めました(掲載6回)。

ウ マニフェスト(産業廃棄物管理票)使用の普及促進

産業廃棄物排出事業者や建設系廃棄物の元請事業者などに398,000セットのマニフェストを頒布し、あわせて小冊子「産業廃棄物管理票制度 マニフェストシステムがよくわかる本」を頒布し、その使用の普及促進に努めました。

(6) ボランティアU. D. 監視員制度運営事業(県委託事業)

ア 不法投棄監視パトロール実施状況等の運営管理

監視員333名が実施した不法投棄監視活動状況を集計管理し、県に報告しました。

イ 監視員登録証の更新手続き

協会監視員 99 名のうち 45 名の登録証の更新手続きを行いました。

ウ 不法投棄防止強調月間事業への参加

不法投棄防止強調月間に、ボランティア協会監視員が支部単位で不法投棄防止パトロールを実施しました。

エ 茨城県ボランティア U. D. 監視員研修会の開催

茨城県庁舎講堂において、茨城県とともに茨城県ボランティア U. D. 監視員研修会を開催しました（12月16日、参加者138名）。

(7) 茨城県廃棄物再資源化指導センター事業（県委託事業）

ア 廃棄物の適正処理相談

廃棄物の適正処理に関する一般県民及び事業者の相談に対応しました。

イ ホームページによる情報提供

産業廃棄物のリサイクルに関する優良事業所の概要等について、ホームページ上に公開し、事業所や処理業者の方々の産業廃棄物の再資源化や有効利用についての情報を提供しました。

(8) 高病原性鳥インフルエンザ・豚熱に関する防疫・処理業務（県委託事業）

茨城県から、高病原性鳥インフルエンザ・豚熱農場防疫業務及び焼却処理業務の委託を受け、会員企業の協力を得て実施しました。

- ・ 11月 かすみがうら市
- ・ 12月 笠間市
- ・ 1月 城里町
- ・ 2月 かすみがうら市、八千代町、坂東市
- ・ 3月 かすみがうら市（豚熱）

(9) 関連事業

ア 全産連及び協会表彰事業

(ア) 全産連の表彰規定に基づく表彰

- ・ 地方功労者 2名
- ・ 地方優良事業所 5事業所
- ・ 優良従事者 5名

(イ) 茨城県産業資源循環協会の表彰規定に基づく表彰

- ・ 功労者 4名
- ・ 優良事業所 5事業所
- ・ 優良従事者 9名

イ 国及び県表彰の推薦

循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰、茨城県環境保全功労者表彰及び茨城県不法投棄防止功労者表彰における表彰者の推薦を行いました。

- ・循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰 1名
- ・茨城県環境保全功労者表彰 1名
- ・茨城県不法投棄防止功労者表彰 1名

ウ 不法投棄廃棄物ボランティア事業

協会設立20周年の記念事業として平成21年度から実施してきたボランティア事業については、行政をはじめ地域の大勢の方々の参加・協力を得て不法投棄廃棄物の撤去を実施し、不法投棄撲滅の意識啓発に寄与しました。

- ・県央支部 (11月26日、城里町)
- ・県北支部 (12月14日、大子町)
- ・県南支部 (11月19日、阿見町、12月10日、石岡市)
- ・県西支部 (12月10日、桜川市)